

交流事業報告

12-13 京都部交流事業主査 高田敏尚
(京都ワイズメンズクラブ)

今期うれしいことは、DBC（国内兄弟クラブ）の締結が4クラブもあったことです。

2010年にチャーター（設立）されたZEROクラブは初めてのDBCですし、東稜クラブも久しく待たれた初のDBCでした。グローバルクラブは設立20周年を機会に、京都クラブは以前から交流のあった三島クラブと、それぞれ2つめのDBC締結です。

このように、国内の他クラブとの交流を深め、さらにワイズメンズクラブは国際組織ですからIBC（国際兄弟クラブ）との交流にも努めてきました。

私たちワイズメンは各地で交流をしていますが、YMCAが対象としている若者はどうでしょうか。最近、気になる記事が目にとまりました。高校生の6割が「留学したくない」と答えているのです。その理由として約6割「言葉の壁」、約4割が「経済的に厳しい」、さらに「外国での生活や友達関係に不安」と続きます。「内向きな若者」といわれますがまさにそのとおりです。若者を育てるのがYMCAの使命なら、私たちおとなが何らかのアクションを起こすべきでしょう。クラブ間の交流という事業を担当しながらこんなことを考えています。